

市報

大分いだ

8.11.15

No.1209



- 特集
- ◆未来へ続く道 2~3
 - ◆魅力ある農業商品の開発に向けて 4
 - ◆大分の新しいグッズ 5

春日神社

九州横断自動車道、湯布院～玖珠間の完成に続き、11月26日、大分IC～大分米良IC間が開通します。これまで、高速道路の開通により、交通の便はもちろん、沿線地域は、高速効果による産業、経済、文化など、様々な分野で発展を遂げています。あらゆる社会活動のベースとなる高速道路。今回は、開通する高速道路の概要や効果、これからの大分州についてお知らせします。

大分自動車道開通

大分IC～大分光吉IC間4・4キロ、大分光吉IC～大分米良IC間3・4キロ、計7・8キロが高速道路でつながり、大分ICから大分米良ICまで、国道10号を利用した場合より約10分の短縮が図られます。

未来へ続く道

**大分自動車道
大分IC～大分米良IC間
11月26日開通**



東九州自動車道の早期実現を

東九州自動車道は、九州の東側を北九州市から鹿児島市までをつなぐ約418キロの高速道路です。未開通区間が多く残っていますが、大分市～津久見市(大分県)、西都市～清武市(宮崎県)、末吉町～隼人町(鹿児島県)の3区間については、現在日本道路公団福岡建設局で事業を進めています。これまで、九州縦貫自動車道、九州横断自動車道の開通で、そ

の沿線地域は、高速効果による様々な発展を遂げています。

しかし、九州の中でこの高速効果が届いていないのが東九州。沿線には多くの重要港湾や空港が、そして北九州市、大分市、延岡市などに代表される生産拠点都市が位置しています。また東九州は、リゾート施設など充実した観光資源が豊かで、高速道路の整備は、九州全域のバランスのとれた発展のために不可欠です。

今後の東九州自動車道の整備は、人、物、情報が循環する地域間交流により、九州全体の飛躍につながり、新国土軸構想などの21世紀に向けたプロジェクトの関係からも早期実現が望まれます。

高速道路の整備により、レジャー、買い物、ビジネス、通勤など人々の行動範囲が広がり、地域間の交流が進みます。また、定住人口の増加や若者の定着、企業誘致につながる効果も期待されます。

このようなメリットを上手に生かすためには、魅力的で個性ある地域づくりの推進や、Uターン支援の促進など、様々な工夫が地域に求められます。また、市民皆さんの一層のホスピタリティー（おもてなしの心）が必要となってきます。

大分市も、今後整備が進む東九州自動車道の重要な拠点として、市と市民が一体となつた魅力ある都市づくりを進めていきます。

▼問合せ先 都市整備課高速道路対策室 (☎ 094-61111内線1845)へ。

大分米良ICを起点とした所要時間と料金

IC	所要時間	料金
大分	6分	350円
別府	17分	750円
湯布院	37分	1,350円
日田	1時間16分	2,500円
太宰府	1時間55分	3,650円
長崎多良見	2時間52分	5,350円

高速道路の運転ルール

◎制限速度を守りましょう

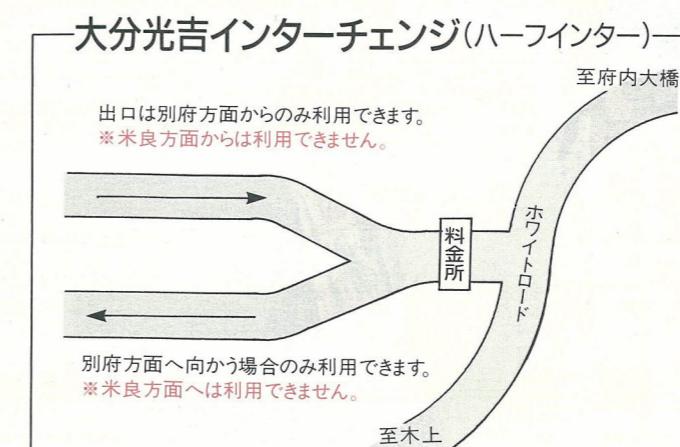
高速道路での交通事故死亡者の約7割が、シートベルト非着用者となっています。その中の3人に1人は、車外飛び出しによる死亡となっています。必ずシートベルトを着用しましょう。

◎シートベルトの着用を

高速道路では、左側が走行車線で、右側が追い越し車線です。追い越す車がない場合に、追い越し車線をいつまでも走っていると、通行帯違反になります。

◎通行帯違反にご注意を

高速道路では、左側が走行車線で、右側が追い越し車線です。追い越す車がない場合に、追い越し車線をいつまでも走っていると、通行帯違反になります。



市では、平成7年11月に「大分市農業商品流通研究会」を設立し、大分市産の農産物を加工した新しい特産品や魅力ある農業商品の開発に向けての調査研究を行っています。この度、生活者部会と生産者・加工者部会の中間活動報告書がまとまりましたので、その概要を紹介します。

これまでの活動

（生産者・加工者部会では）

農業商品に対する市民ニーズを把握するため、市内在住の20歳以上70歳未満の男女1,000人を無作為抽出し、郵送によるアンケート調査を実施しました。

（回収率：48・1%）

消費者の声

○自然な農業商品	新鮮なものを望む	74.5%
	昔の味（露地物、旬）を望む	56.2%
	見栄えを気にする	32.9%
	見栄えを気にしない	43.5%
○安全な農業商品	有機・無農薬を望む	74.0%
	作物の表示（大分市産）をして欲しい	82.0%
○工夫する農業商品	目玉产品が欲しい	73.8%
	作り手の工夫が不足しているのでは…	18.9%
○農業商品の流通	朝市をぜひやって欲しい	62.8%

魅力ある農業商品の開発に向けて

～農業商品流通研究会の中間活動報告～

- アンケートをもとに、既存商品・アイデア商品について試作改良を実施しました。（91品目から11品目へ絞り込み）

（生産者・加工者部会）

- ・潜在的需要の大きい「朝市」
- ・商品の開発として「裂けるチーズ」の開発研究を行っています。

これから課題

生活者のニーズと、生産者のアイデアがうまく結びついた新しい魅力的な農業商品の開発と流通も機能的に働くようなシステムを確立していくために、次の項目を中心に調査研究を続けていきます。

- ・高齢者対策、並びに体験農業の在り方の調査研究
- ・生きがい農業（兼業者対策、高齢者対策、並びに体験農業）の在り方の調査研究
- ・商品表示の調査研究：大分市にしかないブランドの確立
- ・産地巡りの実施：生産現場の見学を通じ生産者と生活者とのコミュニケーションの場を提供
- ・将来性のある農業の在り方の調査研究

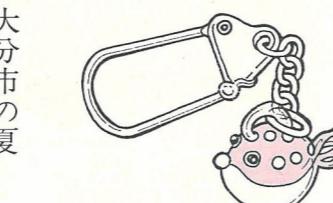


▼問合せ先 総合企画課（☎
④ 6111内線1131）へ。

④ 6111内線1131へ。

大分の新しいグッズ

「大分ネクタイ」「ふぐのキーホルダー」



大分ネクタイ

大分市の歴史や文化に根ざした「大分らしい名物」を発掘、開発し、大分市の新たな魅力づくり（イメージアップ）と地域の活性化を図ることを目的に平成7年度から「大分名物新魅力創出事業」に取り組んでいます。

「大分名物新魅力創出研究会」の中間報告で大分グッズの企画・販売の提言を受けていましたが、この度、「大分ネクタイ」と「ふぐのキーホルダー」が出来上がりましたので紹介します。

このネクタイは、大分市の夏の風物詩として有名な「鶴崎踊」や全国的に有名な「高崎山のさる」さらに全国へPRを始めた「大分のふぐ」をデザイン化したもので「柄や色合いがすばらしい」と若い人からお年寄りまで非常に評判がよいグッズです。種類は、鶴崎おどり（2種類）、高崎山のさる（2種類）、大分ふぐ（1種類）の5種類で、色は紺やエンジなどそれぞれ種類別に3色ずつあります。

販売先は、市役所観光課内市観光協会、高崎山自然動物園やデパートなどです。

ぜひ、市民の皆さんもご愛用ください。

市としても、大分市の新しいグッズとして全国へ向けて情報発信していきます。

※販売価格：1本2,900円

（綱100%）



ふぐのキーホルダー

安くて、おいしい大分のふぐをPRするため製作しました。

(1) 内容
7色のガラス製のふぐです。このふぐを7個集めたら、幸せが来る：という願いを込めて、名称を「大分七（しち）ふぐ」としました。

(2) 配布について

大分ふぐのPRの一環として、当面は、市内の大分ふぐ名店会（16店）に置き、店を利用した人にお配りすることにしています。なお、数に限りがあります。

▼問合せ先 商工労政課（☎
④ 6111内線1613）へ。



11月の花
「モクセンナ」

プレーに真剣そのもの
笑顔ものぞかせて…



地域の特性を生かした
都づくりを
（地域活性化懇話会
中間提言発表会）
10月28日 トキハ会館



歴史資料館第15回特別展開催中

～米と日本人のくらし～

11月24日まで



～第13回大分市身体障害者ゲートボール大会～
10月23日 平和市民公園多目的広場

地域活性化懇話会
中間提言発表会
10月28日 トキハ会館



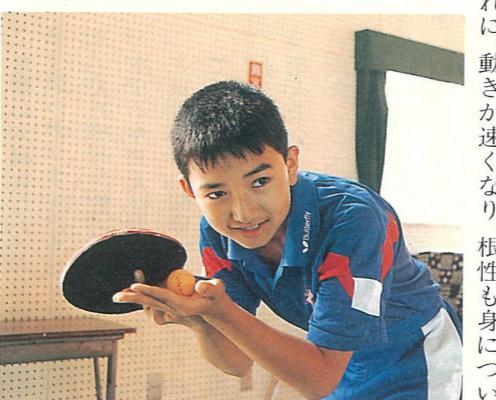
母校の威信をかけて
（中学校駅伝大会）

10月24日 裏川周辺

卓球で学んだこと

桃園小6年 玉井 亨直

元気くん



ぼくが卓球を始めたのは去年の6月ごろで、父と卓球場に行き、練習している友だちの姿を見て、たのしそうだったからです。

今年の夏休みに九州大会と全国大会の県予選があり、ホーブスの団体の部（小学校5・6年生の部）で県の代表に選ばれました。東京での全国大会では準優勝することができ、すごくうれしかったです。

卓球を始めて、ぼくには友だちがたくさんできました。それに、動きが速くなり、根性も身につきました。これからも、練習にがんばり、自分のところなカットとねばり強さを伸ばしていくこうと考えています。

卓球を始めたのは去年の6月ごろで、父と卓球場に行き、練習している友だちの姿を見て、たのしそうだったからです。

今年の夏休みに九州大会と全国大会の県予選があり、ホーブスの団体の部（小学校5・6年生の部）で県の代表に選ばれました。東京での全国大会では準優勝することができ、すごくうれしかったです。

いま夢中です

陶芸の魅力にひかれて

中判田 マーサ・ジョハンソン

日本語や陶芸の勉強のため、6年前に日本へ来て、最初は日本中を回り、各地の陶芸作品を集めたり、教室での作品作りに取り組みました。今年の8月には、ここ大分に自分の窯を作り、ほぼ毎日、作品作りに専念しています。茶わんをはじめ、きゅうすや花瓶、皿など、いろんな物に挑戦しています。自分で納得できる作品作りを心掛けていますが、逆に全くできない日もあります。

陶芸の魅力は、手作りの良さは言うまでもありませんが、作る時に手だけでなく、体全体や心で表現できることです。そして、作品が出来上がった時の喜びは何とも言いようがないほどです。今では、自分で作る傍ら、友人にも教えながら、日夜作品作りに励んでいます。これからも、未来の陶芸家“をめざして、がんばっていきたがんばっています。これ



～秋の音楽の夕べ～
10月26日 グリーンカルチャーセンター



’96生涯学習まつり開催

～市民学習シンポジウム～
10月25日 コンバルホール

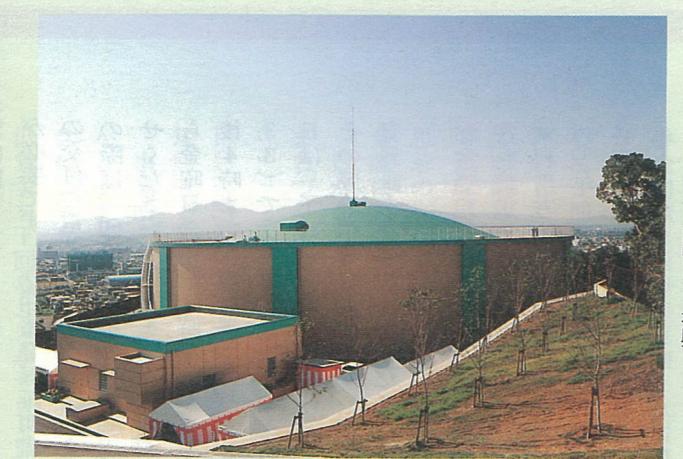


コスモス



わたしたちの手で植えた花でいっぱいに
～国際ソロプチミスト大分のみなさん～

10月18日 佐野植物公園内



太平寺配水場完成

10月29日 永興



日ごろの功績をたたえて

～大分市ごみ減量・リサイクル推進20周年記念大会～

10月9日 コンバルホール



カヌーの楽しさを満喫

～第3回カヌーツーリング講習会～

10月20日 大野川白滝橋付近



いきました。
これからも、未来の陶芸家“をめざして、がんばっていきたがんばっています。これ



「波動説」

—「波動」をめぐつて No.32

加納光於作(1985年制作 カラーインタリオ)

作者は、野生の本能をもったうごめくような朱色を、区切られた画面の中で、まるで動物使いのように飼い慣らしています。デカルコマニーという偶然が入り込んで来る手法を使いながらも、鍊金術的ともいえる周到な技で、鮮やかに描き出しているのです。色彩が物質であることをこれほど感じさせながら、その純度を少しも失わず一瞬の姿を永遠の形にとどめている画面には、驚かされます。そこには、我々の内側に潜む言葉にならない感情やイメージを見いだすことができるのかもしれません。



加納光於

1933年(昭和8年) 東京生まれ。

病弱のため中学を中退する。10代から植物や微生物に興味をもつとともにランボーなどフランス近代詩に傾倒する。独学で銅版画を学び1956年タケミヤ画廊での初個展以来次々と版画によるカラーインクアート(色彩凹版)などの実験的表現を試みていく。サンパウロビエンナーレ展、リュブリアーナ国際版画ビエンナーレ展、日本国際美術展など多数国際展へ出品し受賞を重ねている。また、1980年から、油彩画も手掛け、デカルコマニーの手法による独自の色彩世界を展開している。



天気予報 OAB

●毎週火曜日 午後2時55分~3時

天気予報のバックに、市の施設などを紹介しています。

大分市テレビ広報

フレッシュおおいた

OBS 午前7時~7時15分

11月23日(土) 僕らも参加

~天面山まつり~

「天面山まつり」に参加する大分市スポーツ少年団の元気な子供たちをリポート。スポーツだけでなく、人とのふれあいを大切にするスポーツ少年団を紹介します。

11月30日(土) 12月4日から10日は
人権週間です

人権週間にちなんだ行事を行っている小・中学校を取り上げ、人権の大切さを考えます。

再放送 大分ケーブルテレビ放送(1チャンネル)
毎週 土曜日 午前8時45分~9時
日曜日 午後1時~1時15分



青島神社は、青筵(あわしろ)(七島筵・しちとうむしろ)豊後表などともいわれる豊後表。

街角ウォッチング



の原材料である七島蘭を、寛文3年(1663年)府内藩にもたらしたといふ府内城下桜町の商人、橋本五郎左衛門の功績をたたえ明治14年(1881年)に建てられたものです。五郎左衛門は、琉球産の蘭草で織つた堅ろうな豊後表に魅せられ、その蘭草を求めて琉球へ渡る途中、難破して漂流した七島(トカラ列島)で蘭草の苗を手に入れ持ち帰りました。

以来、青筵は「豊後表」とも呼ばれる豊後の代表的な特産物となり、杵築・日出・府内など別府湾の周辺諸藩領に一大産地を形成し、全国向けの商品として有名になりました。

編集子ひとこと

◎先日の事です。大分生活文化展で撮った写真の中でどれを「とびっくす」に取り上げようかとあれこれ考えていたところ、不意にかかってきた電話に出るやいなや、「生活文化展ですが」と口走っていました。即座に言いついたものの冷や汗をかいてしまいました。…(房前) ◎紅葉を撮ろうと、草を撮ろうと、あれどまだ早く、ガッカリして帰ろうとすると、ダイヤが滑って脱出不能に。あわてふためくその姿は、まるでキツネとタヌキ。このまま山に残るか。…(佐々木)